# 小型車両系建設機械特別教育講習会および実践講習会

9月2:3日

(土・日)、

16 日

 $\widehat{\pm}$ 



▲実践講習会(掘削)



▲実践講習会(解体)



▲特別教育講習会(実技)



▲特別教育講習会(学科)

重機の操作や知識を身につけるための を修了した方が参加し、 よる特別教育修了証を取得されました 用3t未満)運転の労働安全衛生法に 教育講習会が、月夜野農村環境改善セ の3日間、 操作練習を行いました。 建設機械実践講習会が同会場にて開催 **槓込み用および掘削用3t未満、** ンター等にて開催され、 また、10月6日(金)、小型車両系 小型車両系建設機械(整地·運搬 この講習会には9月に特別教育 小型車両系建設機械の特別 より実践的な 24名の方が参



を受けて行われたもので、今後も町で

G財団の防災拠点整備事業による支援

これらの講習会は公益財団法人B&

は同財団の支援で配備された防災倉庫

▲徒競走(桃野小)



更なる防災・減災対策の強化に取り組

給水タンク車等の機材を活かし

や油圧ショベル、

スライドダンプ、

▲南中ソーラン(桃野小)



▲綱引き(古馬牧小)



-(古馬牧小)



▲エイサー(桃野小)



▲大玉転がし(桃野小)



▲むかで競争(古馬牧小)



▲応援(古馬牧小)



▲台風の目(水上小)



二人三脚(水上小)



▲棒引き(新治小)



▲玉入れ(新治小)

児童をサポートする姿が見られ、 や思いやりが感じられる運動会となり がされている中、 に共通して、 り組みました。また、それぞれの学校 発揮しようと、 学校の児童らは、練習の成果を精一杯 の恒例行事が盛大に開催されました。 校で運動会が開催されました。 9月から10月にかけて、 当日は爽やかな秋晴れに恵まれ、 オリジナリティ溢れる秋 規模の縮小や時間の短縮 高学年の児童が低学年 演技や競技に真剣に取 各学校がそれぞれ工 町内の小学 各

# 町内小学校で運動会が開催されまし

# 千代田町と災害時における相互応援に関する協定を締結

の締結式が行われました。この協定は

害時における相互応援に関する協定 10月4日(水)、群馬県千代田町と「災



必要な職員の派遣、車両等を相互に提 活必需品等の支援や救助・救援活動に ある場合において、食料や飲料水、生 の町で災害が発生または発生の恐れが 災害対策基本法の規定に基づき、

滑に遂行することを目的とするもので ど、災害応急対策および復旧対策を円 供するほか、避難者の相互受け入れな

のとなります。 回の協定は、非常に心強く有意義なも のリスクが高いみなかみ町にとって今 土砂災害や河川の氾濫等、 自然災害

# ふるさとみなかみいただきます給食



そうに給食を食べる児童(新治小学校)

学校とこども園で提供されました。 なかみいただきます給食」

z

のこ料理コンクール全国大会で最高賞 出されている食材を使用したほか、 名産品ブランド「みなかみ珠玉」に選 餃子の香味ソース」が を受賞した川端希歩さ 「旨味たっぷりきのこ ん(利根商業高校)の 今回のメニューでは、みなかみ町

て提供されました。 給食用にアレンジされ

提供された給食

# 番場正夫さんが内閣府エイジレス章を受章

恒久平和の願い

みなかみ町戦没者追悼式

ルセリオ月夜野会館において、

令和5

10 月 20 日

(金)、三東メモリアルホー

年度 みなかみ町戦没者追悼式が開催

みなかみ町戦没者

されました。

を表彰する「エイジレス章」を番場正 を送ることを実践している高齢者の方 力において自由で生き生きとした生活 よび記念品の伝達が行われました。 夫さんが受章し、阿部町長から賞状お 年齢にとらわれず、自らの責任と能

世代や分野を超えた地域貢献に尽力さ られ今回の受章となりました。 れています。こうした組織づくりや をまとめた冊子を発行する活動など、 た、歌人・若山牧水と町との関連資料 活動や児童の登下校の見守り活動、 **沽動を精力的に行っていることが認め** 番場さんは、長年にわたり介護予防

▲番場正夫さん(左)、阿部町長(右)



▲遺族による御霊迎え

900柱の先人達が祖国の平和と発展 実現」に向けて祈りを捧げました。 が繰り返えされないよう「恒久平和の 福をお祈りするとともに、 戦争により亡くなられた犠牲者のご冥 塔より戦没者の御霊をお迎えし、遺族 の方々をはじめ約100名の参列者が れました。当日は、 を願いながら、心ならずも命を落とさ 先の大戦において町では、およそ 町内3か所の忠霊 悲惨な史実

「ふるさとみ

が町内小中

材をふんだんに使用した

9 月 21

(木)、

みなかみ町産の食

### New Acoustic Camp 2023が開催されまし

藤原ぼん展覧会が開催されました



クショップやフードブースの出店のほ えるキャンプイベントで、様々なワー た。このイベントは今回で14年目を迎 クキャンプ2023)が開催されまし 上高原リゾート200ゴルフコースに また、夜には会場がライトアップさ 9 月 16 日 多くのアーティストが出演するな 大盛況の3日間となりました。 2023 (ニューアコースティッ N e w Acoustic Cam (土) から18日 月,

フと音楽にあふれた特別な時間となり 幻想的な空間となり、 山とキャン

## アウトドア感謝祭が行われました

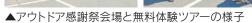
伊賀野の花畑イベントが開催されました

化が促進されることが期待されます。 というコンテンツを通じて地域の活性 文化の再発見をすると共に、

「藤原盆

地

元の森林資源を活用し、



活かした「アソビ」の提供をコンセプ かみユネスコエコパークという環境を 催されました。このイベントは、 コエコパークアウトドア感謝祭」 道の駅水紀行館にて「みなかみユネス トに行われたイベントです。 9 月 29 日 金) から10月1日 みな  $\widehat{\mathbb{H}}$ が開

教室や清掃ラフティング・カヌーツ ベントが継続されることで、みなかみ る催しが数多く行われました。このイ ビティの無料体験のほか、親子川遊び 『の更なる魅力向上が期待されます。 3日間で様々なアウトドアアクティ 自然を守り、活かし、 広め

### 展覧会の開催を記念する集合写真

減り、その伝統が失われつつあります 藤原盆も生活様式の変化に伴い需要が

今回の藤原ぼんプロジェクトを契機

とした民芸品の盆であり、

円形や半月

こね鉢など様々な種類があります。

扇形のほか、うどんやそばを作る

しかし、江戸時代から作られてきた

われました。 において、

藤原盆とは、

藤原を産地

藤原ぼん展覧会開会式が行

9 月 30 日

<u>(</u>土

奥利根民俗集古

見頃を迎えた花畑と楽しむ来場者

民の方々が整備しており、 内を散策し、こども達はブランコや 草(コキア)が見頃を迎え、 は、心地よいサックスの音色が響く畑 多くの方々が訪れました。訪れた方々 は音楽ライブや飲食店の出店が行われ 花畑イベントが行われました。 賀野の花畑は、 できるイベントとなりました。 こどもから大人まで里山の自然を満喫 シーソーなどの手作り遊具で遊ぶなど 8千平方メートルもの広さがある伊 10 月 8 日 (回) (回) 約6千株のほうき 伊賀野の 会場で

楽しませています。 10年以上前から地域住 訪れる人を

### みなかみ町で酒米生産を開始

### の特徴

- 標高350~600mの中 山間地帯に適する。
- 玄米は大粒で、千粒 重は大きいが、胴割米 が発生しやすい。
- コシヒカリと比べ、早 期成熟となる。



生産を試みています。羽場・入須川・ ました。 用して日本酒の原料となる「五百万 受け、試験的な酒米栽培に取り組み 成功させるために、県普及指導課や までに約5千キロを収穫しました。 下津の水田耕作地132アールを活 水井酒造の育成状況確認や講習会を **彑」という酒米を栽培し、9月中旬** 生産者らは実績のない酒米栽培を

独での仕込み予定はありませんが、 を増やしていくことが期待されてい 地産地消の地酒 将来的に地域の飲食店や宿泊施設に 地酒「谷川岳」に一部使用されます。 される予定です。町内産酒米を元に できるように、良質な酒米の出荷量 した初の試みということもあり、 株)の酒蔵において年末頃に醸造 今年収穫された酒米は、永井酒造 「谷川岳」の提供が

令和6年度の作付希望を11月末 **2**0278(25)5015 お問い合わせください。 ある場合は、農林課農政係まで まで受付けています。ご興味が ※酒米の作付拡大を図るため



### 第55号

まちづくり協議会事務局(企画課) 80278(62)2280

### 新治支部(吹路区)の活動

配布することになりました。 の一環として各地区へ花桃の苗木を 支部では、花のまちづくり事業推進 約8年前、まちづくり協議会新治

出しました。 りました。まちづくり協議会の事業 ただき、苗木100本の要望書を提 まちづくり事業の取り組みに賛同い はどうかと地区総会に提案し、花の を取り入れ、引き続き花桃を育てて ててきた大きな花桃の木が所々にあ 吹路区にはこれまで地元の人が育

方針を立てました。 所などについて議論を重ね、 その後、吹路区民で苗木の植栽場 、以下の

- 自然環境を活かした「吹路花桃 里」として観光名所にする。
- 国道17号沿いの吹路区入口に案内 看板を設置する。
- 花桃の維持管理をする。 住みよい活力ある地域とコミュニ ティの充実強化の先駆けにする。

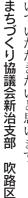
苗木は各戸に2本ずつ配布し家の

周りに植栽する。

残りの苗木は桑畑などの空き地を 現在、植栽した100本の苗木は 借りて区民で協力し植栽する。

はもちろんドライバーや観光客の目 菜の花も一緒に咲き誇り、地元住民 順調に育ち、満開時にはスイセンや を楽しませています。

りや枝の剪定を行い、持続可能な「花 桃の里」にすることが区民の願いで す。見頃は4月下旬から5月中旬で いでいただきたいと思います。 これからも区民で力を合わせ草刈 町民の皆さんにもぜひ鑑賞にお





▲吹路区の花桃

### 地域おこし協力隊の活動

### NPO法人水上自然遊楽所属

### 大塚真希さん

MINAKAMI TOWN.EXEの大塚真希です!任期3 年目ということで、協力隊員としてのラストスパー トに入りました。

ようやく町内でもイベント等が行われ、町に 少しずつ活気が出てきたように感じるこの頃。 MINAKAMI TOWN.EXEも8月に約4年ぶりとなる 町内でのプロゲーム開催を行うことが出来ました! 担当しているアカデミー・チアスクールの生徒のパ フォーマンスも披露することができ、心から「嬉し い」という気持ちに。9月に開催された高崎市での

ホームゲームでは、たくさん の観客の前で踊ることができ、 さらに生涯学習フェスティバ ルでもステージ上で出演をさ せていただきました。イベン トを重ねるごとに子どもたち の成長を感じさせられるとて も貴重な時間でした。

我が子も2歳になり、イベ ントに参加したりすることを ▲3年ぶりの町内プロゲーム開催

少しずつ楽しめる年齢になって来ました。たくさん のイベントが各所で開催され、町が盛り上がること が楽しみです!仕事が休みの日は、子どもとイベン トに行ったり、自然の中で遊んだり、キャンプをし たりとみなかみを満喫して過ごしています!

チームも世界戦への出場が決まり、チームテーマ である「みなかみから世界へ」を体現できる日がよ うやく巡ってきました。町の皆さまに後押しされ、 ようやく掴んだ自力での世界戦出場。選手だけでな く、スタッフ陣もサポート体制を強化して試合に臨 んでいきます!これからも皆さまの熱いご声援をよ ろしくお願いします。





▲休日は自然の中で遊んでいます

### 一般財団法人みなかみ町体験旅行所属

### 山中久美さん

一般社団法人みなかみ町体験旅行所属の山中久美で す。季節は一巡りして2年目を迎えています。

春から段々と川の流れの音量が変わり、雪が降る 土地でも夏は暑く、空が暗くなり風が強く吹き始め ると雨が降り、雷の光と音の演出が、、、色んな感覚 で季節の変化を体感しています。ようやく秋の気配 がしてきて、仕事も2シーズン目を折り返しました。

私が所属するみなかみ町体験旅行は、主に学校の 教育旅行の企画手配、地域と来訪者を繋ぐ事業を

しています。アウトドアアク ティビティ・工芸・農業・チー ムビルディングなど、多くの 地域の方々からの協力により プログラムを提供しています。 単に体験する、とういことだ けでなく、体験を通して、み なかみの人と触れ合い、いろ んなことを感じてもらうこと を大事にしています。



▲JICA研修受入れの様子

主に担当している里山生活体験や農業体験も、受 け入れ先を紹介してもらったり、困った時に相談に 乗ってくれたり、いろんな方のご協力にいつも感謝 しています。今年はインバウンドも戻り始めてきて いて、訪日学生団体のホームステイやJICA研修な どの受入れもしています。食や生活文化が違うなか、 ホストの方には色々試行錯誤していただき、言葉は 通じなくても心で通じ合えている姿も見ることがで きました。

みなかみ町というフィールドで、みなかみ町の 人々との時間が、来訪者の記憶や心に残ってくれた らと思います。



▲農作業体験受入れの様子